

2 病院の沿革

昭和 18 年 10 月	田島町上町に個人施設を借受け日本医療団田島病院として発足。
昭和 24 年 7 月	日本医療団解散に伴い県立病院として引継ぐ。(内科・外科)
昭和 27 年 8 月	田島町寺前に改築移転 (内科・外科 60 床)
昭和 39 年 11 月	既存の内部を改築して、32 床増床、92 床となる。
昭和 41 年 2 月	手術室を増築する。
昭和 43 年 10 月	火災により病棟、炊事棟等施設の約半分 (約 980 m ²) を焼失し 52 床となる。(42 床減少)
昭和 45 年 11 月	老朽化に伴い、田島町天道沢に新築移転 (一般病床 60 床、結核病床 15 床、伝染病床 15 床) (内科・外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科)
昭和 56 年 8 月	結核病床を一般病床に転換 (一般病床 75 床、結核病棟 0 床、伝染病棟 15 床) (内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科)
昭和 58 年 12 月	救急協力病院に認定される。
平成 2 年 2 月	C T (全身用コンピュータ断層撮影装置) 導入
平成 3 年 3 月	老朽化、狭隘化及び医療需要増加に伴い、県立田島病院整備基本構想を策定
平成 4 年 3 月	移転改築のための用地取得 (田島町風下地内 20,816 m ²)
平成 5 年 7 月	新病院建築工事着工 (鉄筋コンクリート 2 階建 延 8,998.30 m ²)
平成 6 年 5 月	職員宿舎建築工事着工 (医師 10 名、職員 24 名)
平成 7 年 2 月	M R I (磁気共鳴断層撮影装置) 導入
平成 7 年 4 月	新病院庁舎で診療開始 病院名変更 (県立田島病院→県立南会津病院) (一般病床 150 床) (内科・外科・産婦人科・小児科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科)
平成 8 年 11 月	地域災害医療センターに指定を受ける。
平成 11 年 4 月	救急告示病院に認定される。
平成 12 年 5 月	麻酔科診療開始
平成 16 年 3 月	臨床研修病院 (協力型 (自治医大・県立医大)) の指定を受ける。
平成 16 年 5 月	地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受ける。
平成 16 年 6 月	へき地医療拠点病院の指定を受ける。
平成 19 年 2 月	皮膚科診療開始
平成 21 年 3 月	許可病床数変更 (一般病床 150→100 床)